

虫たちの 冬じたく 冬ごもり

オオムラサキの観察 8

冬に向かい、虫たちはどうしているのだろうか？

オオムラサキは？オオムラサキと冬の自然を観察してみよう。冬の郷土食、かぼちゃぼうとうも食べてみよう。（1年を通して季節ごとのオオムラサキを観察し、自分の観察記録ノートを作ろう。）

開催日時 12月2日（日） 小雨決行
午前10時から12時まで
講師 朝日竹夫（自然観察指導員）
定員 15名
開催場所 オオムラサキ自然公園
持ちもの 雨具、汚れても良い服装、防寒着

星空観察会

初冬の星空を観察します。星も一期一会、今日の星空は今日しか見られません。

星に詳しい牛山先生と一緒にアンドロメダ大銀河、すばる、土星、オリオン星雲などを訪ねましょう。

開催日時 12月8日（土） 午後7時30分から9時
講師 牛山俊男（自然写真家）
定員 20名
開催場所 秋田小学校 校庭
持ちもの 懐中電灯、寒くない格好で（防寒着）
雨や曇りの場合には中止

景観写真展

「私の好きな風景 in 八ヶ岳南麓」 =あなたにとって八ヶ岳らしさとは=

八ヶ岳南麓の美しい景観は、緑と太陽と湧水に恵まれた自然とその自然を慈しむ人々の歴史と風土から生まれました。私達は他に類のないこの景観を“世界の共有財産”として次世代に伝えていく努めがあります。

身近な風景のちょっとした写真から、八ヶ岳南麓の美しい景観を再発見し、あなたの好きな風景を見つけてみませんか。

開催期間 11月28日(水)から
12月9日(日)まで
開催場所 オオムラサキセンター
主催 八ヶ岳南麓景観を考える会

イベント情報

ボランティアの日

オオムラサキセンターのお手伝いをして下さい。

開催日時 12月8日（土）
午前10時から12時まで
開催場所 オオムラサキ自然公園
内 容 随時内容が変わります
（草刈り、笹刈り、川のゴミ拾い等）
服 装 作業のできる服装、軍手

カブトムシの森づくり

カブトムシは「里山の王様」と言われるほど里山を代表する昆虫です。里山がなくなればカブトムシもいなくなってしまう。

里山の落ち葉かきをしながらカブトムシの森を作りましょう。

みんなで落ち葉の布団をカブトムシにかけてあげて安心して冬が越せるようにしてあげましょう。

集めた落ち葉でやさしいももするよ！

開催日時 12月16日（日）
午前10時から12時
定員 30名
開催場所 オオムラサキ自然公園
持ちもの 防寒着、汚れても良い服装
協力 長坂あぜ道の会
少雨決行

お問い合わせ・お申込は

〒408-0022
山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地
長坂町オオムラサキセンター
TEL&Fax 0551-32-6648
URL <http://www.yatsu.gr.jp/ngs/oomurasaki/index.html>

オオムラサキ通信

No. 4 3

発行：平成13年11月13日

編集：長坂町オオムラサキセンター

〒408-0022 山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地

TEL&Fax 0551-32-6648

オオムラサキ最新情報

オオムラサキの幼虫が木を降りはじめました。早いものはもうエノキの根元の落ち葉に張り付いていました。今、葉の上にいるオオムラサキの幼虫と落ち葉の下にいる幼虫を両方、観察することができます。

オオムラサキは幼虫の状態越冬します。エノキの葉が落ちる前に幹を自力で降りて、木の根元にある落ち葉の下に張り付いて冬を越します。厳しい冬をじっとこらえて越すのでオオムラサキの幼虫が心配です。

12月2日（日）に行う「虫たちの 冬じたく 冬ごもり」オオムラサキの観察 8 では、越冬幼虫を観察します。

オオムラサキ自然公園内の飼育施設のエノキの根元にどのくらい幼虫がいるか調べます。ご協力お願いいたします。

オオムラサキの4齢幼虫



オオムラサキの4齢幼虫



今、見ごろ！！

木の幹には、秋の日の光にキラキラと光る糸が見えます。これはオオムラサキの幼虫が自分の足で降りたと言う証です。

木の幹を歩く時にも風などで飛ばされたり落ちてしまわないように糸を吐きながら歩いているのです。エノキの幹が、キラキラと輝く季節です。

写真では紹介できないのが残念です。

ぜひ見に来て下さい。

今月は「ヒヨドリジョウゴ」です。

オオムラサキ自然公園内もなんだか花が少なくなってきて寂しくなってきたのかなと思って歩いてみると赤い実が目をはきしました。
ヒヨドリジョウゴの実が川沿いのところでいくつもいくつも実っていました。
その実が赤くなるとヒヨドリが好んで食べにくることから「鵜上戸（ヒヨドリジョウゴ）」とついたそうです。

「ヒヨドリジョウゴ」ナス科
林のふちなどに生えるつる性の多年草。葉は互生し、茎や葉はやわらかい毛が密生する。花のつく枝は葉と対生の位置に出てふたまた状に枝分かれする。花冠は白色で1ミリほど、5個の花弁はそり返る。果実は液状で直径8ミリほどになる。

「日本の野草」山と溪谷社 より

注意＊ヒヨドリは大好きでも人間にとっては有毒なので食べないようにして下さい。

これは食べても大丈夫な赤い実、ガマズミの実。きれいだね！！



オオムラサキ自然公園の様子

本当に今年は、お天気の日には「最高！！」と言いたいくらい紅葉がきれいです。残念ながら、紅葉のピークは過ぎてしまいましたがお天気の日には足元に落ちた美しい赤や黄色の葉を拾いに来て下さい。それでは「あき」いっぱいのおオムラサキ自然公園を紹介しましょう。

<花の咲いている草木>

ユウガギク、ヒメジオン、ヤクシソウ、アカツメクサ、レンギョウ、西洋タンポポ、コスモス、

<実のなっている草木>

ヒヨドリジョウゴ、マムシグサ、アメリカセンダングサ、コスモス、ガマズミ、ヤマコウバシなどなど

<鳥たちの姿>

たくさんの鳥たちが訪れています。

シジュウカラが下の枝まで降りてきて餌をついばんでいました。間じかで見れることがうれしくてじっとしてしまいたくしゃみをしてしまい驚かしてしまいました。

<昆虫たちの様子>

寒くなってきて活動が衰えてきたかなと思っていたら、とんでもない。

あっちでもこっちでも忙しそうに動き回っている虫たちを発見！！

オオカマキリは貫禄の雰囲気です。葉が赤いドウダンツツジの枝陰からぎろっとにらでいました。

トンボもまだまだ健在！！

石臼で そばをひいて

オオムラサキ自然公園に隣接している日野春農村公園とオオムラサキセンターにおいて「棚田であそぶ1日」が10月28日（日）開催されました。

あいにくの天気でしたので、外での作業はできませんでしたが、4家族12人が水車小屋のきねでソバの実をつく様子を見たり、石臼をひいてそば粉にしたりしました。

初めてのことで石臼にどのくらい実を入れてよいのかも分からず、試行錯誤で挑戦していましたが、そば粉になって出て来ると「わー」と歓声を上げていました。

参加者の中には、そばをまく作業に来て下さった方もいて、「自分がまいた種が大きくなってこうしてそば粉を手にすることができてとてもうれしいです。」と話して下さいました。

最後に、そば粉に熱湯を入れて混ぜるだけの簡単な料理「ソバがき」を食べてみました。

さて、そのお味は？！

石臼でひいて ふるいをかけている様子



そばがきを食べました。
子どもたちは
「あまりおいしくないなー。」
と言っていました、
結局、
おかわりをして
食べていました。



水車小屋の前に広がっていたそば畑
実がなり収穫して・・・。



冬期休館のお知らせ

12月28日（木）～1月4日（木）の間、休館します。